

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年（2022年）3月7日

事業所名 草笛学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	・発達課題別活動のグループ数によって部屋を区切って利用するなどの工夫をしている	
	② 職員の配置数は適切であるか	10	4	・退職で人数が減ったが、活動内容の変更や安全確保をおこないながら取り組んだ。 ・不足だと感じることもあるが、臨機応変に職員配置を考え、状況にあったことをして対応している。	・基準配置ではあるが、年度途中からの退職者があり、職員が減ったことでの負担が大きかった。 ・事前の人材確保、体制整備に努めていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1	・適切な大きさの机椅子や、個々のマーク（視覚的てがかり）の用意をしている。 ・子どもたちの動きを全体で確認し危険箇所を把握し対応している。	・引き続き、衛生面に配慮し、環境整備をおこなっていく。 ・子どもたちの分かりやすさや活動の導線など、配慮や工夫をしていく。
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	・掃除や修理は、適宜、行っている。 ・コロナ感染防止のため、毎日消毒をおこなっている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	0	・会議で、起案や反省をし、全体共有をしている。	・引き続き、毎月の職員会議、年度末の会議を通して、園の在り方、活動内容の検討をしていく。また、評価表を用いて保護者への意向を確認し、現状の見直しをし、次年度への取り組みに活かすようにしていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	・保護者向けの評価表について職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0		・多くの視点で、評価いただき、自己評価で振り返ることで、よりより支援になっていければと考えている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	7	・わからない	・第三者評価制度はあるが、導入はしていない。今後の検討課題である。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・今年度は、コロナ禍で、研修機会は減ったが、オンラインで参加できる研修はできる限り受講するようにした ・毎月、園内研修日が設定され、できている。	・職員研修日が定期的に確保できたので、来年度も引き続き有効に使って行く。
支援切 のな	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成し	14	0	・個別支援計画に基づいた支援が行えているかを再確認する必要がある。	・地域支援の支援については、今後、検討していく。 ・子どもの状態に応じて計画の見直しをおこなっていく。

	ているか				
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	1		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0		・児童発達支援ガイドラインを念頭におき、アセスメントや支援経過など職員間での共有をおこなっていく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	・クラス会議等で複数の視点で、現状の確認をしている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	1	・各種会議にて、活動の振り返りをし、新たな設定をおこなっている。 ・子どもの状況によっては、同じ活動をじっくりと繰り返すこともある。	・活動の立案をするにあたっては、活動のねらいや意図を職員間で共有したうえで行っていく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・グループ活動の良さや意義を感じている。	・取り組みのねらいや意義を引き続き、確認し、取り組みに続けていく。 ・個別活動については計画的に取り組めるようにしていく。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	3	・ねらいや注意点を確認している。 ・忙しい時や職員体制が少ないときなどは不十分だが、全体での取り組みを行なうときには、毎日実施するようにしている。	・引き続き、日々の振り返りは、限られた時間（終礼など）の中で、共有すべき点について実施していく。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、気付いた点等を共有しているか	11	3	・会議や日々の休憩などの合間に、振り返っている。 ・時間が取れない日もあるが、大事なことを伝えあう意識はしている。	・より詳細については、各種の会議を通して、子どもの評価・取り組み・支援の内容を検討し、支援につなげていく。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	1	・記録をとる時間を設定している	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	1	・定期的に会議を行ない、計画の見直しをしている。	
や関係者保護者関係	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	0	・担当が参加している。内容については、記録の回覧、報告等で職員間で共有するようにしている。	

	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか	13	1		
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	8		<ul style="list-style-type: none"> 個々に必要な医療的ケアの状況把握やできる対応など、具体的な連携を取っていくようにする。 また、地域の現状や課題に対しては、情報収集・共有に努める。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	5		
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	1		<ul style="list-style-type: none"> 小学校への入学、保育所への入所にあたっては、支援の継続性を考える上で、情報提供が必須である。よりよい環境づくり、支援になるように具体的な連携方法を一律化し実施していく。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画や計画に対しての評価、今後の課題など、情報提供をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 入園にあたっては、母子保健・児童発達支援事業所などからの引継ぎを受け、適切な支援につなげていく。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、あまりできていない。回数は少ないが、オンラインでの研修を行なった。 	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	14	<ul style="list-style-type: none"> できていない。 近くに保育所があるので、交流できるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナの状況が落ち着いてきたら、近隣の保育所との交流を行なっていきたい。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	4	<ul style="list-style-type: none"> 担当者が参加している 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での連携や必要な支援のあり方について、検討や協力を引き続き行なっていく。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、オンラインで研修会を行なった。 子どもの状況については、懇談やおたより等でお伝えし、共通理解を持てるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者支援は子どもを支援すると同様に大切な事柄です。懇談や親子教室、研修会を通して、保護者の支援につなげている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	6	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムを意識して行ってはいない。 懇談やおたよりで、関わり方など一緒に考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムの実施については、今後の検討としていく。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1		<ul style="list-style-type: none"> 運営規定については入園説明会でお伝えしている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や懇談で説明を行っているが、今年度はコロナ禍のため時間を短縮しての実施となり十分には行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため保護者会で伝えられなかったことなど、動画配信を使ってお伝えしている。 わかりやすく、丁寧な説明を努めていく。

	支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか				
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため顔を合わせて相談を受けることは不十分だったが、相談があった場合は、その都度、連絡帳やおたより、電話などで対応している。 ・相談に即対応できないときには、他の職員と協議しながら、伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いや悩みを聞いたり話したりする機会（懇談・親子教室など）を定期的に設けている。 ・引き続き、その時々様子によって、時間を設けたり、電話でのやりとりをしたりすることで、よりタイムリーに対応をしたいと思う。 ・保護者が安心してお子さんを預けられるように、努力をしていく。
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・体制はあるが、今年度は、難しい状況だった。 	
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日程や場所を設定して対応している。 ・職員間で情報共有するようにしている。 	
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行事予定、必要に応じて事務連絡を発行し、子どもの活動、様子等については、隔週でおたより毎週個別へのおたよりを発行している 	
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・情報の管理の徹底していく。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0		
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へは、新聞を発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・招待する行事は難しいので、子どもの散歩や課外活動での積極的な近隣の方々とのかわりや、新聞発行による周知などを行なう。 ・地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していく。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全を守るための必要な対応については、マニュアルを元に、職員が共有対応できることが必要である。そのための危機管理、訓練を引き続き行っていく。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は毎月実施している。その他に土砂崩れを想定した避難訓練をおこなった。 ・地震、防犯への訓練も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や防犯などに対する想定を常に意識していく必要がある。マニュアルの見直しも行なっていく。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0		

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	・入園時に指示書の提出をお願いし、対応をしている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	・ヒヤリハット案件が発生した場合は、職員間で状況把握、今後の対応について考えるようにしている。	・引き続き、ヒヤリハット事項の共有をし、職員全体の意識を高めていく。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	・虐待防止ハンドブックを利用している。	・引き続き、研修機会を設けるとともに、学習会などでも、取り入れていく。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	4	・身体拘束はしていないと思うが、必要に応じて施錠や散歩など園外へ出るときには安全を守るため手をつなぐことなどは考えられる。 ・計画には記載していないが、必要な場面においては職員間の共有や保護者への説明をしている。	・身体を押さえる、移動を室内に制限するなど身体拘束のとらえ方を明確にし、必要なことは検討、明文化する必要がある。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。